

## ほいくえんってたのし〜い!



「みんななかよし 元気いっぱい 17人の仲間たち」

### 遊びを楽しく展開する子どもたち

保育課巡回支援専門員 柳澤 廣

私は昨年度から保育課の巡回支援専門員をさせていただき多くの園を訪問させていただいています。どの園でも子ども達が笑顔で迎えてくれるのでとても安心しました。

巡回では、各保育園の保育室を中心として生活している場面を参観し、時には実際に園児と過ごしたり一緒に遊んだりしています。

ある保育園にお邪魔した時のことです。保育室を訪問すると子ども達はすでに晴天のもとで園庭に出て遊んでいました。私も帽子を被り園庭に出ました。子ども達は、砂場で穴を掘ったり山を作ったり、その隣ではキッチンセットを使い、「ジュースやプリンを作つては「美味しいよ」と渡してくれる子がいて、すぐ遊びの輪に加えてもらいました。

そんな遊びをしている中、園庭に年長児が何人か集まりボールを投げていました。

様子を見ていた担任の先生がコートラインを書いてくださりドッチボールが始まりました。

すると「僕も入れて」「私も入れて」と十人ほど集まってきました。

私も「入っていい?」と聞くと「いいよ。じゃんけんしてね」「外は一人だよ」自然にチームが出来てゲームが始まりました。その自然さには感心しました。

またある園では、リズム室で運動遊びをしていました。リズム室全体にコースが組まれていて、子ども達は一本橋渡り・ジャンプ・ケンパに挑戦していました。

一人の子が浮石のコースを飛んだ後少しレベルアップしようとしてコースを伸ばして新しいルートを作りました。すると後ろから来た子が喜んで新しいコースにチャレンジし始めました。

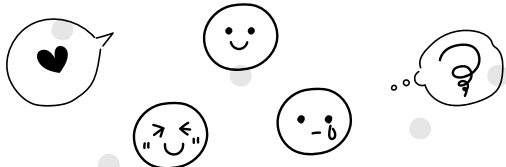
どの園でも、楽しく遊びを展開する子ども達に会って、沢山パワーをもらう巡回となっています。

子ども達の遊びたいという気持ちを見取って遊びをサポートし、自然に支えて下さる保育者がいて子ども達は楽しく活動できているのだと思いました。

子ども達の「やりたい!・気になる!」を尊重してくれる園。子ども達からでた気になる!をみんなで意見を出し合いそれについて、子ども達自身で調べたり、実際に見に行ったりして制作や体験をたくさんしています。その為、好奇心旺盛ながら自主性や向上心が自然に身についていて、この認定こども園に預けて良かったなと思いました。

保護者会連合会 会長

あそびの森あきわ 赤沼恵利菜



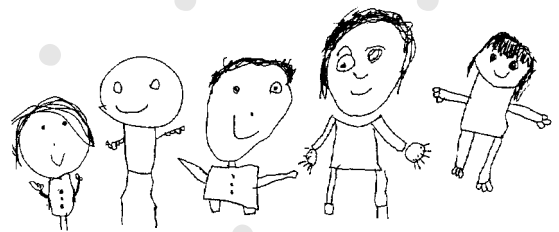
## ほいくえん、 認定こども園では…

新型コロナウイルス感染症と向き合いながらの保育は3年目となり、かつては当たり前だったことが当たり前ができない日々…。

でも、園では毎日、子ども達が元気な笑顔を見せ、笑い声や泣き声がこだましています。

そんな園での様子、楽しい一場面、園の特徴などをまとめてみました。

市内のいろいろな園での子ども達の様子を感じてみてください。



### ちぐさ幼稚園

子ども達と過ごしていると驚くことやおもしろいことがたくさんあります。園庭に動物の足跡があり、足跡の匂いを嗅いだ子ども達が「動物の匂いがするからここは昔動物園だったんじゃない?」と話合っていました。あまりに真剣で思わず笑ってしまいました。子ども達の豊かな発想力を大切にしていきたいと思いました。

### 神科第三保育園

今年も元気いっぱい年少児。生き物が好きな子どもたちは見つけた虫をバケツに入れて観察しています。花壇で何かを発見したA児が「先生、卵があったよ」と見せてくれたのは水やりの水滴。虫が苦手なB児が笑顔で見せてくれたのは砂場の型抜きの子供たち。バケツを覗いて思い思いに見つけた虫たちとの楽しい毎日です。

### そえひ保育園

暖かくなり園庭や散歩先で虫を捕まえたり、草花を摘んだりしています。ありやダンゴ虫を見つけると、友だちと図鑑を見て「すごい!こうなっているんだ」と興味を寄せています。また草花を集めるとそれを使い、友だちとごっこ遊びが始まります。自然豊かな環境で色々な発見や遊びを思う存分楽しんでいきます。

### 室賀保育園

飼っているトカゲが、ビックリした途端しっぽを切り、逃げました。半分になった体はすぐに3歳児に捕まり、切れたしっぽはバタバタと跳ねています。体がないのによく動くしっぽをつまみ上げ、顔を寄せ合い不思議そうに見ていました。翌日「トカゲ病院行ったかな」と心配していましたが、トカゲは切れた所を土に入れ自ら癒していました。



## 常田保育園

給食で麻婆豆腐が出た日『どんな味かな…』と食べてみた3歳児の男の子が「餃子の味がする!」と言っておいしそうに完食してくれました。素材の味を生かしたおいしい給食は、食材の大きさや硬さで食の発達を促し、かわいい行事食等も給食員が工夫して作ってくれています。たくさん食べて大きくなってね!

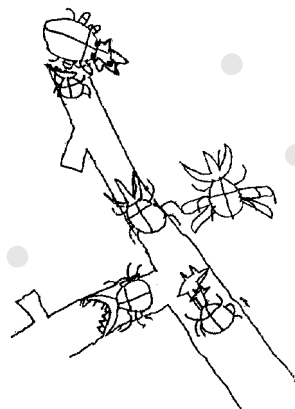


## あそびの森あきわ

当園には、自主的に修行を100日続けている5歳児のお坊さんがいます。座禅を勧められ、私も一緒に座禅をしていると苦悶の表情をしていたようで、警策で叩かれて思わず笑ってしまいました。こういった、子どもとも自分とも向き合う『心穏やか』な時間を大切にしたいです。

## 甘露保育園

『明るく』『正しく』『仲よく』を保育理念に①園独自の献立による完全給食～とってもおいしい②看護師が常駐しているので体調不良時も安心③ピリー先生の英語～発音が全然違います④感覚統合の部屋(蓮の音こども園)～遊びを通して五感の育ちを高めます。ぜひHPやブログから日々の園の様子をご覧ください。



## 聖カエル保育園

保育園では、お祈りを大切にしながら過ごしています。子どもたちも自分の言葉でいるんな出来事を織り交ぜながらお祈りをしています。お祈りの最後にアーメンと皆で唱えます。このアーメンという言葉は『本当にそう思います、そうなりますように』という意味があります。ひとり一人のお祈りを大切にしながら、今日も過ごしています。

## 認定こども園かんぎおん

私たちの園は『見守る保育』を基盤に、子どもたちの主体性を大事にしています。

私たち保育教諭が発する言葉よりも何百倍も素敵な目線や言葉で優しく友だちに声を掛け、泣いていた子も不思議と笑顔になってしまう“魔法の言葉”が毎日たくさん溢れており、友だち同士の関わりが微笑ましいです。

## 認定こども園 にしおか

「あ～いいにおい!」お散歩から帰ると、給食室からお昼のいいにおいがします。にしおかの給食には絵本メニューがあります。シンデレラシチュー、浦島太郎サラダ、ぐりとぐらのパンケーキなど、子どもたちは給食を食べながら、絵本の世界に入ります。「あ～おいしかった!私、シンデレラよ」そんな声が聞こえてきます。

## 認定こども園みのり保育園

中之条地域は保小中高の施設が整っており、各学校と保育体験等でたくさんの交流が持てる子育てにとっても良い環境です。敬老会の方からは菜園活動やバケツでのお米作り、しめ縄飾りを教えてもらうなど、世代を超えての交流が盛んで、その関わりの中から多くを学び、人、地域との繋がりが大好きなこども園です。





## 豊殿保育園

自然豊かな環境にあり、園のシンボルになっている“けやきのおじさん”の周りや花壇、畑で虫探しをみんなで一緒にする中で自信や憧れの気持ちが持て思いやりの心が育っています。また、遊びに必要な物を自分たちで話し合い遊びを作り出しごっこ遊びもしています。そこに保育者も仲間に入り楽しんでいます。

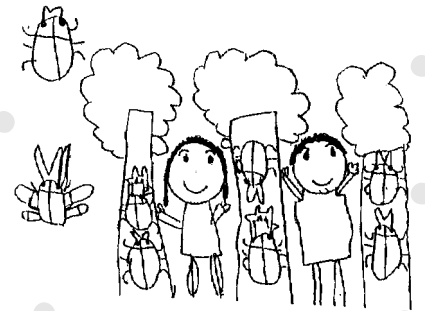
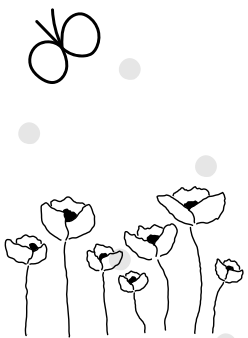
## 泉田保育園

3歳児の子ども達はプランターのイチゴの実が大きくなるのを楽しみにしていました。ある日、イチゴがなくなっていました。「どうしてだろう」と話していると「きっとアリさんが食べちゃったんだよ」とかわいいつぶやきが聞こえてきました。今では「イチゴを食べたのは誰だ〜」と追いかっこを楽しんでいます。

## 依田保育園

当園には天窓から日光が降り注ぐ、真直ぐな中廊下があります。長さはなんと60メートル！ハイハイやヨチヨチ歩きの0、1歳児さんにとっては、一番端の遊戯室まで行くだけで大冒険です。

3歳以上児さん達は廊下の一角に遊び場を作って楽しんでいます。子どもや職員が触れ合い、にぎやかな声が飛び交う、そんな素敵な憩いの場所です。



## 北保育園

今年の夏、初めて保育園でビーチサンダルを履いた4歳児。「どうしてお父さん指とお母さん指の間なの？」とぼつりと一言。確かに！当たり前履いていたので理由を考えた事などありませんでした。いろいろな事に気づいたり、不思議に考えたりできるようになったことに驚いた一言でした。毎日、子どもたちの素敵なつぶやきや行動がたくさんあり、とても楽しい北保育園です。

## 塩尻保育園

市内西部にある我が園は、園児に大人気の新幹線の見える保育園です。園庭で遊んでいる時、部屋で給食を食べている時、朝ちょっぴり涙が出てしまった時、新幹線が通るとみんなの目は一点くぎ付け！おもわず手を振っています。お散歩コースも“新幹線広場”“新幹線ジャングル”と魅力的な場所がいっぱいです。

## 東塩田保育園

園庭の水たまりにキアゲハが水を飲みにやってきました。それを見つけた年長児はお皿を持って追いかけて、その後ろから年中児がフラフープを持って追いかけて、キアゲハと子ども達の追いかっこが始まりました。「まてまてー」と追いかけてますが、優雅に飛んでいるキアゲハ。しばらく園庭を駆け回った結果“キアゲハの勝ち”で終わりを迎えたが「また遊びに来てくれるかな？」と満足そうな子供達でした。

## すがだいら保育園

4月に年長児が園庭で遊んでいると、水たまりにカエルの卵を見つけ「カエルの卵発見！」と園庭中に緊急速報が流れました。水槽に入れ、卵がかえるの楽しみに待ちました。昨年からヒキガエルのペロちゃんを飼育しているので「何ガエルになるかなあ？」と毎日オタマジャクシを眺め、興味津々の子ども達です。

## 東部保育園

- ◆下の歯が2本生えた赤ちゃんを見て「どうしたの、歯取れちゃったの？」(4歳児)
  - ◆A児「空が曇ってきたね」B児「太陽も雲に隠れてお昼食べているんだよ」(5歳児)
  - ◆C児「字の見本を書いて欲しいんだけどいい？」保育士「いいよ、何て書く？」C「ママ大好き、かわいいよって書いて」(5歳児)
- 実体験を通して、豊かな感性が育っている子どもたちです。

## 塩田北保育園

当園の周りは自然に恵まれており園庭は開放的で、登園してすぐ戸外へ出て体を動かして遊びたくなります。

運動遊びを取り入れ体づくりに力を入れています。体を動かす事で心の成長も見られ子ども達は「やればできる」と何事にも挑戦する力がつき、活気に溢れている保育園です。

## 下之条保育園

てるてる坊主のおかげで遠足日和になり、子どもたちの足取りも軽く、すれ違った地域の方に「こんにちは。遠足行くの？」と声をかけ、目的地の公園では思う存分遊ぶ姿が見られました。お家の方の手作り弁当を食べ終えると、かみしめた様子で「やっぱ遠足、楽しいわー」とつぶやく声が聞こえてきました。

## 塩川保育園

5歳児が畑で虫を探していると、トノサマガエルを見つけました。A児が蛙の顔をよく見てから「大きくなったら、カッパになるよ」と真剣な表情で言いました。つい笑ってしまいましたが、蛙の口元や色が、前日読んだ絵本の中の河童にそっくりでした。日々の経験から、感じたことを友だちに伝えたかったのでしょう。

## 国分保育園

我が園の砂場には両脇にくまさんが立っているベンチがあります。1歳児が砂場に行くとお兄さんお姉さんの真似をしてみまごごとが始まります。時にはくまさんに抱き着いたり話しかけたりすることもあります。今日はAちゃんがシャベルでくまさんに「どうぞ」とご飯を上げる真似をしていました。

## 浦里保育園

保育園の軒下で5羽の燕の雛がかえり、それを見たA児が「何かの卵見つけた」と丸い小さな石を大事そうに持ってきました。そして畑のスイカに敷いてある藁を見て「藁ちょうだい、燕の巣みたいに卵を温めてかえすんだ」と言い、藁を短く切りカップに敷き詰め、その小さな丸い石を置いて「鳥かな？恐竜かな？」と楽しみにしています。



## 城下保育園

雨上がりの園庭に水たまりを発見した子どもたちは、泥んこ着に着替えると「それっ」と水たまりにジャンプをして友だちと水しぶきの大きさを競い合います。園庭中に笑い声と歓声が響くと、周りの子どもたちも吸い込まれるように集まってきます。「大きな温泉作ろう」「泥んこパーティーもいいね」と想像を膨らませて今日も満足するまで遊び込んでいます。



# 子育てQ&A



## Q

入学を控えています。ひらがなに興味を示しません。読める友だちもいるので少し不安になってしまいました。

## A

子どもがひらがなを習得する時期は、個人差が大きく一概にいつとは言えませんが、小学校入学後の学校生活にとっては、持ち物等の自他の区別のため『自分の名前が読める』ことが望ましいでしょう。

文字習得にあたって大事なことは、お子さんが『文字に興味があるか』です。興味があつてこそ、喜びや意欲をもって文字の学習に取り組めます。その時期こそ、学び始める絶好の機会です。強制的に教えようとすると『文字嫌い』となる恐れもあります。

親として大事なことは『文字を教える』ではなく『文字に興味を持つ環境を整える』ことです。それには、かるたやパズル・しりとり・早口言葉・五十音訓のあいいうえお表で自分や物の名前等と関連して文字や言葉を探す・大人からのメッセージ・読み聞かせ（語彙も広がる）等で文字に触れるを通して、文字が楽しいと感じられ、文字としての『伝えられる』ことに楽しみを見出させましょう。

上田市保育課 指導主事

峯村 隆



## Q

なかなかオムツが外れません。どのようにトイレトレーニングを進めたら良いのが困っています。

## A

大人にとってはトイレで排泄は当たり前ですが、子どもは『どうしてトイレなのか』が分かりません。初めは大人と一緒にトイレ見学に行ってみましょう。見ることができたら一歩前進です。見に行つて入つてみて、ズボンのまま座つてみて少しずつできることを増やします。一時間ぐらいオシッコの間隔があいてきたら出ても出なくても座つてみましょう。誘つても『イヤ』と言つて後戻りすることもあります。でも『トイレに行かれたね』と今できていることを認め、家族が喜んでくれる、それが自立に向かう勇気を与えてくれるのです。

子どもの発達は一人一人違います。他の子と比べて焦つたり叱つたりする必要はありません。大事なのは子どもの不安を取り除くことです。洗濯や後始末が大変で『早く外れれば』と焦る気持ちも分かります。でも、子どもが感覚をつかむには時間がかかります。結果を焦らずゆっくりと自立の時を待ちましょう。必ず外れる時が来ます。あなたもそうだったでしょう。

上田市保育課 発達支援担当

水沢 妙子



いろいろな園での子ども達の様子を感じていただけたいでしょうか。

保育士が見ている園での様子を、保護者の皆さまにも感じていただけるよう、これからも様々な工夫をしていきます。

この誌面でお伝えしきれなかった保育園は、上田市公式ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

上田市 ほいくえんだより



検索

